

インフルエンザ情報 2014 年 第 2 週 (1 月 6 日 ~ 1 月 12 日)

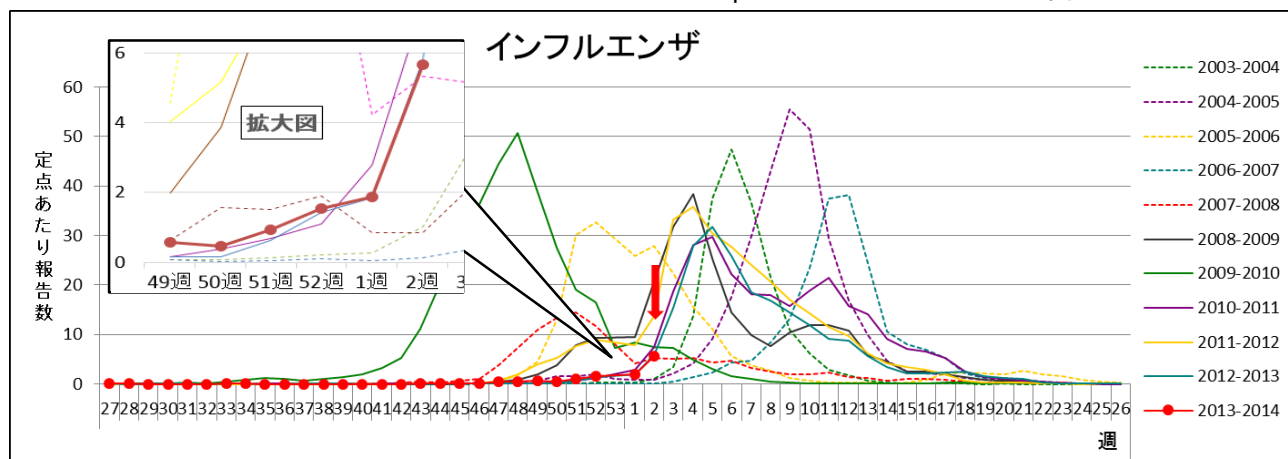
岡山県は『インフルエンザ注意報』を発令しました (1 月 16 日)。

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で 470 名 (定点あたり 1.87 → 5.66 人) の発生があり、大きく増加しました。
注意報発令基準の 5.00 人を越えたため、岡山県は「インフルエンザ注意報」を発令し、注意を呼びかけています。
- インフルエンザによる入院患者 1 名の報告がありました。
- インフルエンザとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。

【第 3 週 速報】

- インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が 13 施設でありました (1 月 14 日~16 日)。
- 県内で発生した患者から、インフルエンザウイルス AH1pdm09 型及び AH3 型が検出されました。



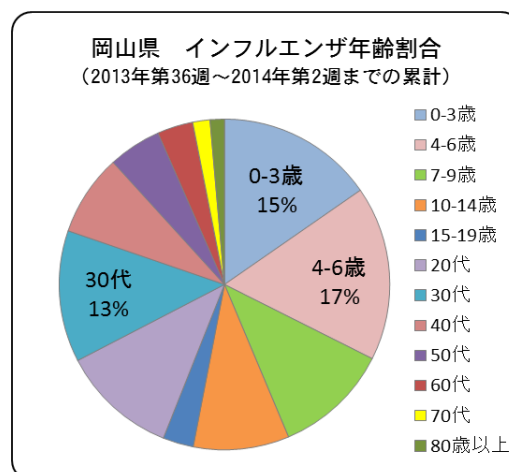
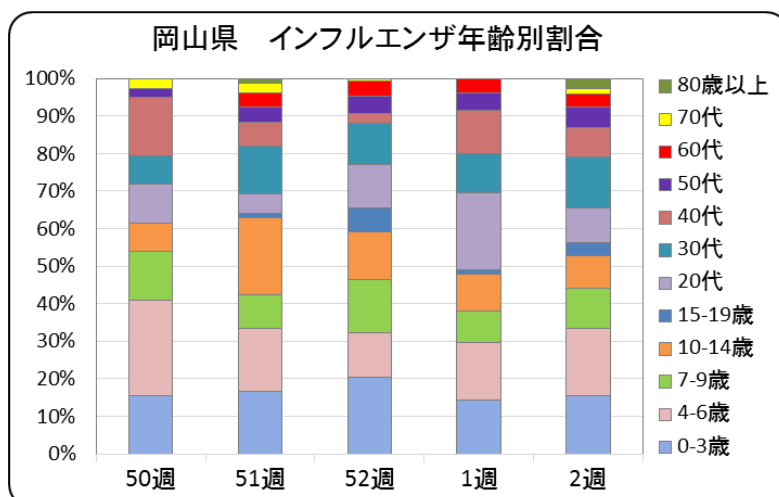
インフルエンザは、県全体で 470 名 (定点あたり 1.87 → 5.66 人) の発生があり、前週より大きく増加しました (83 定点医療機関報告)。岡山県では、第 51 週以降、患者増加がつづいています。注意報発令基準の定点あたり 5.00 人を上回り、今後も流行が継続する可能性があることから、1 月 16 日、「インフルエンザ注意報」を発令し、広く注意を呼びかけています。

地域別では、真庭地域 (12.33 人)、美作地域 (10.90 人)、倉敷市 (7.13 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。真庭地域及び美作地域では定点あたり報告数が 10 人を上回り、発生レベル 2 になった他、全ての地域で急速に流行が拡大しています。

新学期の始まりとともに、第 3 週には、岡山市、倉敷市、備中地域及び美作地域で学校等の臨時休業が報告され、今後の患者増加が懸念されます。『外出後や食事の手洗い・うがいを徹底する。』『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する。』『十分な睡眠を取る。』など、感染予防に努めて下さい。また症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

1. 年齢別発生状況

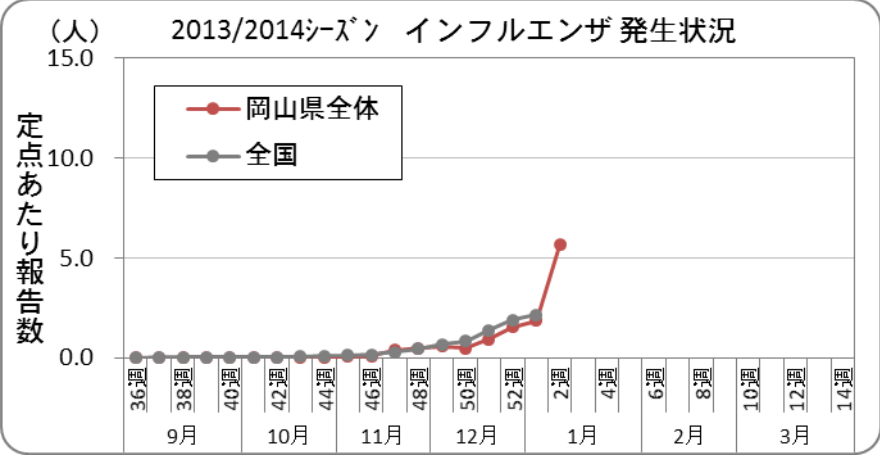
2013 年第 36 週~2014 年第 2 週までの年齢別累計割合は、4-6 歳 17%、0-3 歳 15%、30 代 13% の順で多くなっています。



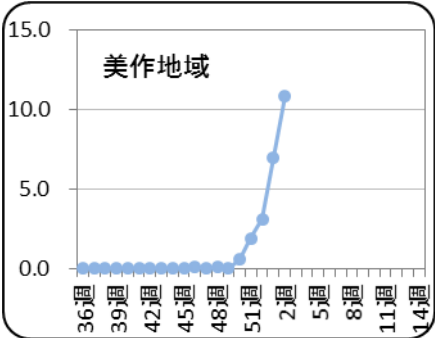
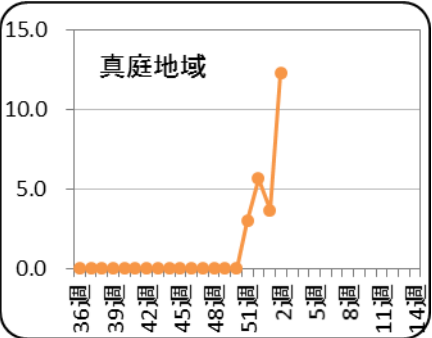
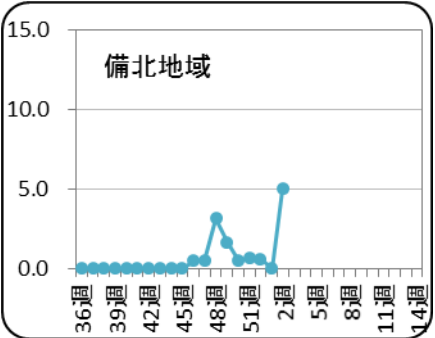
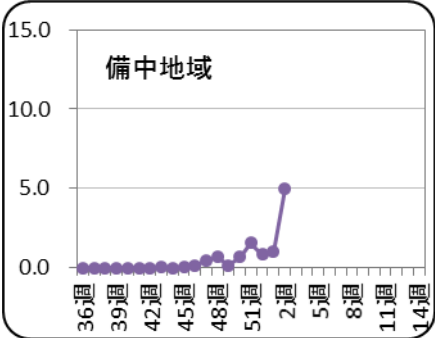
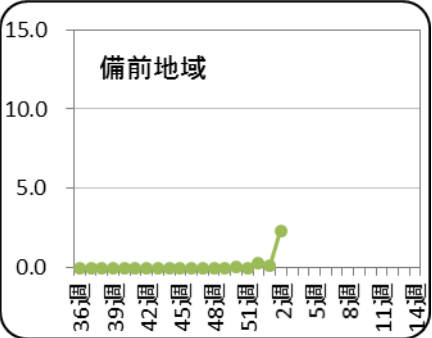
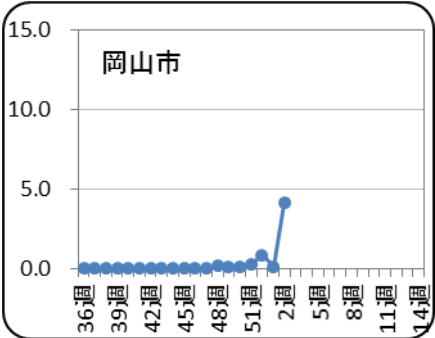
2. 地域別発生状況
前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	470	▲	備 中	患者数	60	▲
	定点あたり	5.66			定点あたり	5.00	
岡山市	患者数	90	▲	備 北	患者数	25	▲
	定点あたり	4.09			定点あたり	5.00	
倉敷市	患者数	114	▲	真 庭	患者数	37	▲
	定点あたり	7.13			定点あたり	12.33	
備 前	患者数	35	▲	美 作	患者数	109	▲
	定点あたり	2.33			定点あたり	10.90	

【記号の説明】 前週からの推移： 2倍以上の減少 ↓ 1.1～2倍未満の減少 ↘ 1.1未満の増減 →
1.1～2倍未満の増加 ↗ 2倍以上の増加 ▲



全国集計第1週(12/30～1/5)速報値によると、全国では定点あたり2.16人であり、第43週以降増加が続いています。地域別では、沖縄県(13.10人)、岐阜県(8.17人)、高知県(6.50人)の順で定点あたり報告数が多くなっており、29府県で前週よりも増加しました。



3. インフルエンザウイルス検出状況

第2週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスはありませんでした。今シーズンでこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が7株です。

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が248株(55%)、AH1pdm09型が120株(27%)、B型が84株(19%)で、昨シーズンの同時期同様AH3型が最も多く検出されており、次いで2009/2010年シーズンに新型インフルエンザとして大流行したAH1pdm09型が多く検出されています。(平成26年1月16日現在)

[\(インフルエンザウイルス分離・検出速報\(国立感染症研究所\)\)](#)

【第3週 速報】

第3週、1月15日時点で、第2週～第3週の岡山市及び美作市の患者10名のうち、5名からインフルエンザウイルスAH3型が、残りの5名からAH1pdm09型が検出されました。1月15日までに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が12株、AH1pdm09型が5株となっています。

4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。

1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	0	88	0	54	0	6	—	—	0	3	0	3	H25. 11. 13
岡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
倉敷市	0	58	0	36	0	3	0	0	0	0	0	3	H25. 11. 18
備前地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
備中地域	0	21	0	10	0	2	0	0	0	2	0	0	H25. 11. 13
備北地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
真庭地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
美作地域	0	9	0	8	0	1	0	0	0	1	0	0	H25. 12. 20

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2) 臨時休業施設数の内訳

第2週：0施設

累計：6施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	0	1	0	5	—	—	—	—	—	—

5. インフルエンザによる入院患者報告数(県内基幹定点5医療機関による報告)

インフルエンザによる入院患者1名(幼児)の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。

<インフルエンザの予防接種をご検討ください>

インフルエンザの予防接種を行っても、**抗体ができるまでには2週間程度**かかるとされています。

本格的な流行が始まる前に、早めのワクチン接種をご検討ください。

<インフルエンザワクチン定期接種対象者>

- ・65歳以上の高齢者
- ・60～64歳で心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

◎ワクチンの在庫及び、予防接種の予約等については、各医療機関にお問い合わせください。



岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2014年 2週

2014年1月16日

9:43:04



インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。

